

## I 目標 (GIO)

主な呼吸器疾患について、症状（自覚症状、他覚症状）・検査（検体検査、画像検査、生理検査）・治療などの基本的診療手技を学び、呼吸器内科領域の基本的診療を行う。

## II 行動目標 (SBOs)

1. 以下の検査に関し、①適応の判断、②手技の実施、③結果の解釈、ができる。  
血液検査、動脈血ガス分析、肺機能検査、胸腔穿刺
2. 胸部 X 線、CT の系統的な読影ができ、異常陰影を指摘し、解釈を述べることができる。
3. 気管支鏡検査の適応および実施方法、合併症を述べることができ、上級医の指導のもとで検査に参加し、検査の補助を行うことができる。
4. 胸腔ドレーンの適応を理解し、安全に挿入・抜去を行うことができる。
5. 呼吸器感染症に関して、グラム染色を含む適切な診断と治療ができる。
6. 肺抗酸菌感染症について、適切な感染対策、届出、診断、治療を行うことができ、家族や接触者に対する対応について指導することができる。
7. スタンダードプリコーションや感染経路別の対策について理解し、適切に院内感染対策が行える。
8. 気管支喘息、COPD について、ガイドラインに沿った診断、治療、患者指導を行い、憎悪時に救急対応ができる。
9. 間質性肺炎の診断、分類ができ、治療方針を決定することができる。
10. その他びまん性肺疾患の診断、鑑別ができ、治療方針を決定することができる。
11. 肺がんの診断、病期診断、治療適応、副作用について理解し、診療グループ内のカンファレンスで化学療法の計画表を作成し、実施することができる。
12. 酸素吸入、在宅酸素療法の適応を判断し、酸素量の設定を行うことができる。
13. 人工呼吸器、非侵襲的陽圧換気について適応を判断し、施行・管理することができる。
14. 緩和ケアについて理解し、基本的な症状コントロールが実施できる。
15. 患者の尊厳に配慮し、死亡確認および家族への対応ができる。
16. 上級医・指導医の指導のもとで、患者家族に対し病状説明ができる。

## III 方略

- ・病棟で上級医と一緒に 10 人前後の患者を受け持ち、診断、検査、治療を行う。
- ・毎週火、金曜日の 17 時から入院患者その他検討の必要な症例について全員でカルテ回診を行い、治療方針を決定する。
- ・毎週火、金曜日の午後に気管支鏡検査に参加する。
- ・週一日、日中の救急当番を行う。
- ・その他勉強会、メディカルワークショップなどに参加する。